

第4回 環境保全、情報発信WGの開催結果

日時	平成24年8月30日(木) 午後1時～午後4時		
場所	兵庫県豊岡市内		
出席者	NPO法人 プロジェクト保津川 かめおか市民活動推進センター運営委員会 保津川遊船企業組合 NPO法人 亀岡子育てネットワーク	副代表理事 原田 禎夫 運営委員長 山口 助治 会長 森田 孝義 田中 美賀子	グループ長 副グループ長
	亀岡市秘書広報課 亀岡市環境政策課 亀岡市桂川・道路整備課 京都府南丹土木事務所河川砂防室	(順不同、敬称略) 山内副課長 山内係長 並河課長、柴田参事、竹村主査 星野室長、井尻副室長、神原副主査	
内容	1 前回の振り返り 2 先進地調査 (1)コウノトリ文化館(コウノトリ郷公園) (2)円山川自然再生事業について		

結果

【先進地調査】

1)兵庫県立コウノトリの郷公園

・コウノトリの野生復帰のために整備されたコウノトリ郷公園内のセンターゾーンにあるコウノトリの公開ケージや自然観察ゾーンの鎌谷川や湿地周辺を視察した。



2)コウノトリ文化館(豊岡市役所コウノトリ共生課 三笠課長)

・コウノトリの現状、コウノトリの野生復帰への取り組み及びコウノトリをシンボルとした地域づくりの実践事例について聴講した。

・公開ケージにて松島名誉館長のコウノトリの野生復帰に向けた取り組みについて聴講した。

【主な内容】

・コウノトリを中心とした自然環境形成の取り組みでは、無農薬、減農薬農業で大変な苦勞を経て今につながっている。コウノトリの放鳥は地元の熱意があっはじめて実現したものである。

・地元による山の管理までは十分にできていないため、近年は鳥獣被害が課題となっている。



3) 円山川(国土交通省豊岡河川国道事務所調査第一課 小長谷課長)

・円山川水系の説明、平成16年の台風被害の説明を聴講した後、現地で円山川中流部の高水敷を切り下げ湿地の創出についてのこれまでの整備内容と今後の課題について聴講した。

【主な内容】

- ・湿地再生による生物の生息環境の創出については一定の効果があった。
- ・高水敷掘削に当たっては、コウノトリの採餌環境、河岸の連続性に配慮し掘削高さを決定。
- ・今後は湿地に起伏を設けるなどして、より充実した湿地の形成に取り組んでいく。



4) 出石川加陽地区(国土交通省豊岡河川国道事務所調査第一課 小長谷課長)

・出石川加陽地区の湿地再生における湿地整備の取り組みや地域との協働の取り組みについて聴講した。

【主な内容】

- ・開放型湿地は魚類の再生産の場、閉鎖型湿地はビオトープ水田の代替えとしている。
- ・開放型湿地は主に河川管理者が維持管理し、昔ながらの田んぼを復元する閉鎖型湿地については、地元で維持管理をお願いすることになっている。
- ・専門家によると、湿地の高さはもっと低くし、年に何十回も浸水する方がよいという指摘をいただいている。
- ・これまでに地域と連携したモニタリング調査などを行っている。
- ・子どもに対する川の危険性の周知は今後の課題としている。

